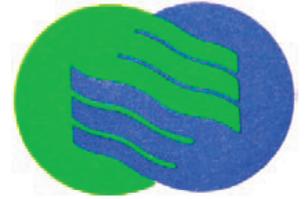


ANIC info



Association for
Nakano
International
Communications

中野区国際交流協会

2022
July

中野区のウクライナ避難民支援

2021年度決算・2022年度予算

さぎのみや日本語教室オープン

イベントレポート バサンティさんが体験談を語る

ワユーさんがインドネシアの文化紹介

明和中学校3年生がANICで職場体験

イーストウェスト日本語学校と金曜ボランティア

のビジターセッション

お知らせ 夏休み子ども日本語クラス
夕涼み会

編集後記

7月末まで
募金受付中



中野区のウクライナ避難民支援

2022年2月24日よりロシアによるウクライナ侵攻が始まってしまいました。ウクライナからの避難民が世界各地、そしてここ東京・中野にもいます。中野ではどんな支援をしているのでしょうか。(2022年7月現在)

ANIC

①日本語学習支援

登録料、教材費無料で、いつからでも日本語講座で、日本語を学ぶことができます。

②ウクライナの方へのお知らせをやさしい(わかる)日本語に翻訳しています。

③募金

下記バッチ配布と同時に ANIC で7月末まで募金をつのっています。ウクライナ大使館へ寄付いたします。

区の取り組み

ワンストップ相談窓口

避難民の人が困っていることを聞き、窓口を案内しています。「住民登録のしかたがわからない」「仕事を探したい」というような困りごとに対し、対応しています。状況に応じて、「東京都ウクライナ避難民就労相談窓口」等、都の相談窓口を案内することもあります。

AI通訳機無料配布

AI通訳機を希望者に無料配布しています。返却不要です。

生活支援一時金の支給 (2022年7月～2023年3月末まで)

ウクライナ避難民の方に一人一律10万円支給します。大人も子どもも申請する時点で中野区内に住所があるウクライナ避難民であれば、支給対象となります。詳しく中野区役所 区民部 区民文化国際課 文化国際交流係まで。

1. ウクライナ避難民ワンストップ相談窓口 (中野区区民文化国際課内)

2. 相談できる曜日

月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで
(祝日は休み)

3. 電話番号 03-3228-5480 (直通)

メールアドレス

bunkakokusai@city.tokyo-nakano.lg.jp

4. 話すことができる言葉 やさしい日本語

(注) その他の言葉については、ご相談ください

5. 窓口の場所

中野区中野4-8-1 中野区役所6階2番窓口
中野区役所 区民部 区民文化国際課
文化国際交流係

IN・COM 株式会社

IN・COM 株式会社(中野区中野2-29-15-807)よりウクライナ救援のためのバッチを寄付いただきました。ウクライナ支援の一助になればと今回オリジナル缶バッチを作りました。ANICで無料配布しています。(※個数限定です。品切れの際はご容赦ください。)何パターンもの柄があるので、お好みのものを選んでください。



IN・COM(株)よりバッチをいただきました

2021年度決算・2022年度予算

新型コロナウイルスの影響により中止・延期した事業があります。今後も状況等に応じて変わる可能性があります。最新情報は、別途ホームページにてご確認をお願いします。

1 友好都市推進事業

2 市民交流事業

国際交流フェスタ、野外交流、スポーツ交流、夕涼み会、料理講習会、地域国際交流カフェ、地域イベント等国際交流、多文化共生多言語化推進事業、ボランティア保険

3 国際理解・情報交流事業

外国語講座（初めての中国語・初めての韓国語・やさしい英会話）、日本語講座、中学生日本語集中教室、日本語指導員養成講座、日本語ボランティア実践講座、日本語指導動画の作成、やさしい（わかる）日本語講座、区職員対象やさしい（わかる）日本語研修【受託】、地域の日本語教室の創設と相談拠点づくり、国際理解講座



2年目の「やさしい日本語講座」の様子

4 国際交流に関する広報、調査、研究、相談その他の事業

広報（ANIC info, ANIC 短信・ホームページ等）、外国人相談業務、多文化共生相談サポート事業、ボランティア活動支援、調査研究

5 中野・ウェリントン友好子ども交流 2022（派遣）【受託】

2022年度 予算

(単位：千円)

	2022年度	2021年度	比較
収入の部	62,800	62,123	677
事業収入	3,664	4,864	▲1,200
補助金収入	44,617	44,299	318
寄付金収入	500	500	0
諸収入	1,612	712	900
受託事業収入	5,717	5,330	387
前期繰越収支差額	6,690	6,418	▲272
支出の部	62,800	62,123	677
事業費	18,362	16,654	1,708
友好都市推進	0	0	0
市民交流	1,493	1,493	0
国際理解情報交流	10,773	9,455	1,318
広報調査	1,619	1,616	3
受託事業	4,477	4,090	387
事業事務費・管理費	8,543	9,700	▲1,157
人件費	34,895	34,769	126
予備費	1,000	1,000	0

2021年度 決算

(単位：千円)

	決算額	説明
収入の部	事業収入	3,106 各種講座参加料など
	寄付金収入	746 賛助会費など
	補助金収入	43,241 区からの補助金
	諸収入	545 日本語教科書売上金など
	受託事業収入	366 区の受託事業
	前期繰越収支差額	4,781
	収入合計	52,788
	支出の部	人件費
友好都市推進		0 西城区派遣事業
市民交流		262 各種交流事業
国際理解情報交流		8,554 各種講座
広報調査		1,447 ANIC info の発行など
事業事務費		3,457 事業全般にかかる経費
受託事業費		105 友好子ども交流（派遣）／やさしい日本語（区職員研修）
管理人件費		17,867 職員給与など
一般管理費		4,560 事務局運営費など
支出合計		49,761
次期繰越収支差額	3,027	

さぎのみや日本語教室オープン!

4月18日に鷺宮地域に日本語教室がオープンしました。その様子について、今回教室ボランティアの代表になっていただいた岩永さんに様子等をうかがっています。

中野区は南北に長く、ANICの日本語クラスはちょうどその真ん中あたりに位置しています。そのため、南北地域に住んでいる外国人の方々には通いづらい状況です。ANICではその不便さを解消させるために、南北地域に日本語クラスの分室を作ることを模索してきました。それがこの春、ようやく実現したのです。

社会福祉協議会がいくつかの団体に声をかけて、「鷺宮地区に外国人の居場所をつくる」という活動を立ち上げました。鷺宮西住宅にはネパール人や中国人などの外国人が多く、コミュニケーションが取りにくく、困ることが多々あるそうです。ANICもこの活動に参加し、鷺宮西住宅の集会所で月に二回、日本語教室を開くこととなりました。

この活動は地域密着型ということで、鷺宮地区周辺に住む日本語ボランティア15名が参加し、4月18日に「さぎのみや日本語教室」開設式の日を迎えることができました。

しかし、開設したからと言って、すぐに多くの外国人が来てくれるというわけではありません。まずは地域の外国人に日本語教室の存在を知ってもらうことが大切です。社会福祉協議会や西住宅自治会にご協力いただき、チラシを配ったり、無料子供服配布イベント時に説明ブースを作って勧誘したりしています。残念ながらまだ学習者は少ないですが、チラシを手に来てくれる人もいて、効果は出てくると信じています。

また、若い外国人世帯が多いのか、子供と一緒に来る人もいます。一応、大人クラスと子供クラスに分かれているのですが、お母さんが勉強して



いる横で小さい子供が遊んだり、お母さんと小学生の子供が別々の机で勉強したりしています。これはなかのZERO西館では見られない光景で、地域密着の良さを感じています。また、色々な状況に臨機応変に対応してくださる事務局にも感謝しています。

参加した外国人は皆、この地域に日本語教室ができた事を喜んでくださっています。その笑顔や「ありがとう」という言葉を力にして、一人でも多くの外国人にこの教室に参加してもらえるように、焦らず、諦めず、地道に活動を続けていきたいと思っています。

さぎのみや日本語教室

第1、第3月曜日

大人教室 14:30～16:00

子ども教室 16:30～18:00

場所は鷺宮西住宅第二集会所（中野区白鷺2-50-11）

費用は教科書、練習帳だけです。

さぎのみや周辺で日本語を勉強したい方、お待ちしております。

イベント レポート

バサンティさんが体験談を語る

5月14日(土)、飯田橋にある東京しごとセンターで「東京の日本語教育を考えるつどい2022」が開催され、中野区国際交流協会の日本語講座で学んだナウサ・バサンティさんが、自身の体験談を語りました。中学生で来日してからの日本語学習や、高校進学のこと、介護士になるまでの苦労やビザについてなど、お話ししてくれました。当日は夜勤明けでの発表となりましたが、参加のみなさん

から大きな拍手をいただくと、ほっとした様子でした。

そのほか、「足立区における日本語教育支援」について、足立区教育委員会とNPOの両面から報告があり、他の地域の積極的な取り組みを知ることができました。



バサンティさん

ワユーさんが
インドネシアの文化紹介

4月22日(金) 北部すこやか福祉センター、6月1日(水) 鷺宮すこやか福祉センターのデイケアで、インドネシア出身のワユー・ウィディアンニルムさんが国の紹介をしました。インドネシアは16,000もの島々からなる国で、1,300を超える民族が暮らす多民族国家であり、公用語はインドネシア語ですが他に700以上の言葉があるそうです。

インドネシアでの様々なコーヒーの淹れ方や「ワルン」と呼ばれる日本の屋台のような人々の憩いの場所を、写真や動画で見せてもらいました。また、最近注目されているヴィーガン料理食材の「テンペ」はインドネシア発祥の大豆発酵食品だそうので、当日は実物をワユーさんが用意してくれて、参加者は試食のお持ち帰りがありました。

2年ぶりのデイケア訪問でしたが、食べものに関する質問が多く、にぎやかな会となりました。



ワユーさん

明和中学校3年生が
ANICで職場体験

5月19日(木)、20日(金)に中野区立明和中学校の3年生がANICで職場体験をしました。ANICで中学生を受け入れるのは初めてでした。ちょうど中学生日本語集中教室の授業時間と重なっていたため、外国につながるある同世代の生徒たちが日本語を学ぶ様子を見学しました。また、日本語を学習中の生徒たちと「やさしい日本語」を意識して会話することに挑戦してもらいました。「やさしい日本語を使わずに話してしまった時があったけれど、みんな意味を理解してくれた。とても勉強しているんだなと思った。また何か話してみたい。」と、感想がありました。お互いに始めは恥ずかしがっていましたが、「やさしい日本語」で有意義な交流ができたようです。

このような体験が、それぞれの中学校での生徒同士の助け合いにつながればと願っています。

そのほか、学校生活では体験できない事務作業もたくさん経験してもらいました。



明和中学校の生徒(左)と外国につながる生徒(右)

イーストウェスト日本語学校と
金曜ボランティアのビジターセッション

2022年5月27日(金)にイーストウェスト日本語学校の生徒の方とANICの金曜ボランティアのメンバーがビジターセッションを行いました。お互いの学生生活についてのお話をしました。金曜ボランティアのメンバーからは「それぞれの違いや類似点などを話し合いながらあっという間の45分間でした。」「学びを深めようとする姿勢には、こちらが見習わせていただきました。」「日本で働きたい、日本の大学で勉強したいなど目標に向かって頑張っている姿に元気を頂きました。」と感想をもらいました。



イーストウェスト日本語学校にて

お知らせ

問合せ

中野区国際交流協会 (ANIC)

TEL : 03-5342-9169 E-mail : anic@nifty.com

なつやす こども にほんご 夏休み子ども日本語クラス

日時 7月22日(金)～8月22日(月)
月・水・金曜日 10:00～12:00
全12回(8月12日(金)、15日(月)はおやすみ)

対象 日本語学習が必要な小学生・中学生

会場 なかのZERO西館3階 会議室1

登録料 中野区民 2,000円(その他 3,000円)
※初めてANICで日本語を学習する人のみ必要

教材費 900円

申込・問合せ 協会窓口まで。



日本語スピーチ「やったね!」の会 8月22日(月) 10:00～12:00 同会場
夏休み日本語クラスの最終日、子どもたちが日本語でスピーチを行います。

ゆうすず かい 夕涼み会

外国の方に、日本の夏の風情を楽しんでいただく
イベント「夕涼み会」を3年ぶりに開催します。

日時 7月14日(木) 18:00開場
イベント: 18:30～20:30

会場 なかのZERO西館



編集後記

3年ぶりの夕涼み会開催に向けて準備しています。少し「日常」が戻ってきたように思います。一方でウクライナでは戦争が起こっています。世界中の人がささやかな幸せを感じられるような日常を過ごせるよう祈っております。(M)

